

大念佛

No.95
発行／融 通 念 佛 宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 吉村暲英

謹賀新年

融通念佛宗管長 吉村暲英

福聚海無量

大源山六十七世 暲英

出典は『妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五』俗に観音経といわれ、広く人びとに親しまれているお経です。

「福、あつまりて海のごとく無量なり」ということで、おめでたい言葉

としてよく使われています。観音経には、観音さまが三十三身に身を変えて、人びとの災難や苦悩をお救いくださる様が説かれていきます。

その功德に浴するには観照といって、彼の観音

の力を念ずる念彼観音力を信じ、一心にまこと心をもつて観音の御名を称える一心称名の行を修することが大切であると説かれます。

観音さまの大きなご利益に抱かれている喜びを

知れば、目に見えない無限の力に生かされていることがわかるでしょう。それが南無観世音のおはたらきであり、それがそのまま阿弥陀仏の大いなる願いでもあります。

仏・菩薩の限らない慈悲の心、私たちに注がれていることを知らねばなりません。

まさに福聚海無量の喜びいっぱいの新 Year であり、ますよう祈念申し上げます。

良忍上人九百回御遠忌を 迎えるにあたって

令和十三年（二〇三二）、
元祖聖應大師良忍上人九百回
御遠忌を迎えます。

良忍上人は尾張（愛知県）
の生まれ、比叡山東塔阿弥陀
坊の堂僧を勤めておられました。
良忍上人の名は日本音楽史上
大変重要で、聲明（仏教の声
楽）の集大成者でもあります。
慈覚大師円仁が伝えた多くの
聲明を習得統一し、その名を
知られるようになりました。
京都大原に來迎院を建立し、
興福寺の『内梵音』以外の奈
良・平安時代に伝わった聲明
は全て修得し、諸々の音曲・
譜を統一したといわれています。
本宗はもちろんのこと、真言
宗を除く、日本仏教各宗の聲
明確立について良忍上人を中
興の祖と仰いでいます。
道心堅固にして専ら極樂往



元祖聖應大師 良忍上人

生を心の底から願ひ求め、永
久五年（一一一七）良忍上人
は阿弥陀仏の仏勅を蒙り、だ
れもが融通念仏を唱和するこ
とによって、自他ともども速
やかに喜びの世界に生まれる
ことができる教えを授かりま
した。後にこの融通念仏は日
本中に広まり、現在も様々な
形で伝承されています。また
良忍上人の修行の様子は手足
の指を焼いてお経を誦するこ
ういう苦行精進で、引聲（いんせい）して唱
える阿弥陀経は勇猛心をもっ
て怠ることが無かったといわ
れています。
（一一三二）正月七日におか
くれになりました。前もって
自らの死期を知り、その終焉
は涅槃の境地で、多くの不思
議な現象があったそうです。
草庵にこの世のものは思え
ない良い香りがし、紫雲が山
空にそびえ、棺を持ち上げる
と大白鳥の羽毛のように軽か
ったといわれています。また、
大原の覚嚴律師の夢に良忍上
人が「私が極樂上品上生に生
まれることが出来るのは、融
通念仏の功である」と告げら
れたとも伝わっています。
総本山では、この御遠忌の
記念事業として本堂の屋根瓦
葺き替え工事を計画しています。
大念佛寺本堂は昭和十三年（一
九三八）に建立され、伝統建
築の技法に近代建築の技術が
うまく融合されている所が評
価されています。登録文化財
から近い将来、国の重要文化
財指定に臨むとされる大阪市
指定文化財になりました。そ
の一方で、八十年余りの永い
年月に腐食が進み、総葺き替
えが必要な状況になっています。
ため、大修理をいたします。
また『大念佛』の紙面に於い
ても、「融通念仏ゆかりの地」
や良忍上人に関する記事も掲
載していく予定です。

大念佛寺に毘沙門天を お祀りしているとお聞きしましたが

Q 大念佛寺に毘沙門天を
祀っているのはなぜで
すか。

Q 現在の毘沙門天はいつ
ごろ造立されたのですか。

Q 大念佛寺の毘沙門天の
特徴は

融通念仏を守護してくださ
るのが鞍馬毘沙門天だからです。
本堂に入り正面右手にお祀
りされています。

融通念佛宗を開いた良忍上

人の前に鞍馬寺毘沙門天が青
い衣の壮年僧に変化し現れま
した。そして自ら融通念仏を
勧める勧進帳に名を記し融通
念仏を唱えるものを守護する
と誓われました。また日本国
中の神々にも融通念仏日課百
遍を勧めた証拠として神名帳
を授けられました。



にいろちゅうのすけ
新納忠之介
茨城県近代美術館蔵
天心記念五浦美術館蔵

鞍馬山の鞍馬寺の毘沙門天
は左手を額の上にかざして遠
くを見つめるようなお姿をし
ています。京都の町を鞍馬山
から見守っている姿です。



大念佛寺の毘沙門天は昭和
十七年（一九四二）に新納忠
之介により制作され造立され
ました。新納忠之介は明治の
廃仏毀釈の後に打ち捨てられ
ていた多くの仏像を岡倉天心
と共に修復をされました。
現在の文化修理の基礎を築
いた方です。時代を経れば大

念佛寺の毘沙門
天も文化財登録
候補に挙がるで
しょう。

大念佛寺の毘沙門天は右手
に槍を持ち左手に神名帳を持
っています。

篠本正啓



大念佛寺 毘沙門天王(融通護法 多聞天王)



鞍馬寺 毘沙門天王

融通念佛宗にゆかりの寺院
浄土宗紫雲山聖聚院
佐太本山 来迎寺



勅願所の碑

現在は守口市佐太町にある浄土宗寺院。正平二年（二三三七）、誠阿実尊上人が師である融通念佛宗中興の法明上人から授かった「天筆如来」を本尊として、来迎堂を現在の守口市来迎町に建立したことに始まります。



融通念佛絵傳
石清水八幡宮を創建した
僧・行教が貞観元年（八五

九）九州の宇佐八幡宮に詣でた際に感得したとされる阿弥陀三尊像で、以来、石清水八幡宮のご神体とされてきました。歳月が過ぎたあるとき、八幡宮の宮司に「天筆如来を法明上人に授けよ」という夢告があり、この「天筆如来」が枚方茄子作一本松で法明上人に手渡されたと伝わっています。



後村上天皇 御真影皇

また、融通念佛宗寺院に見られた独自の継承法（挽道場）により、住職が変わるごとに二十六回寺地が移りました。延宝六年（一六七八）三十世慈光上人（浄土宗僧侶）の代に佐太の地に移り、以後移転することはなくなりました。そしてこの地で大念仏宗（融通念佛宗）佐太派の本山として六十余りの末寺を擁していました。



佐太来迎寺御巡回(昭和初期・西蓮寺蔵)

（不焼宮）の宮司が来拝し詔をあげられます。

明治五年（一八七二）来迎寺は浄土宗に改宗されました。その年、宗派統廃合の太政官布告があり、慈光上人以降浄土宗僧侶が寺を守ってきたこともあり改宗されたのではないかと思われま

れます。

特筆すべきことは融通念佛宗独特の行事である「御回在」に似た「御巡回」が、現在でも行われていることです。春の彼岸の入り

に一つの村を鉦を叩きながら回ります。僧侶が三人、檀家の方が一人または二人。檀信徒の仏前では僧侶が両手で「天筆如来」のご本尊を奉持し、読経します。ご開帳は結願の日の最後のお宅で村の人が集まった中で行われていました。（現在は行われていません）

また、保存状態の良い「融通念佛絵傳」も見つかっています。

来迎寺宝物

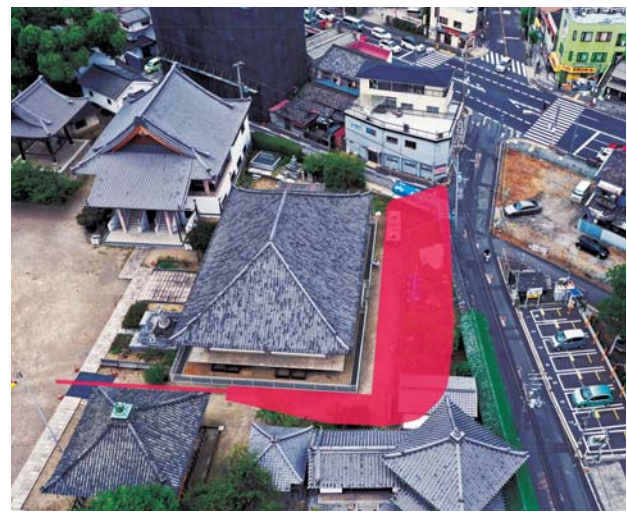
- ・天筆如来
- ・「石清水八幡曼荼羅図」（鎌倉時代、国の重要文化財）
- ・十一面観世音立像（平安時代中期）
- ・釈迦如来立像（鎌倉時代中期以降）
- ・後村上天皇御真影
- ・融通念佛絵傳
- ・石造十三重塔（鎌倉時代、府の指定有形文化財）
- ・幽霊之足跡 など



勅使門

大念仏寺令和の本堂大改修
付帯工事始まる(緊急車両進入路新設工事)
本堂の大屋根改修に先立ち、「大念仏寺令和の本堂大改修付帯工事緊急車両進入路新設工事」を進めています。

工事場所は境内東北角の堀の西側と東側についての一定の範囲を取り払い、緊急車両が進入できるよう新しく入口を作り、また一部堀を作り直す工事となります。（地図上赤で示した箇所）
八月二十九日、総長導師のもと、起工式のお勤めを致しました。その後順調に進められています。境内への入口が一つ増えることになり、また従来の堀の損傷を修理するという補修の内容が含まれています。



「日和田融通念佛傳承の碑」落慶式

岐阜県高山市日和田にて「融通念佛」の伝承を今に伝える石碑があります。日和田六斎念佛講をはじめ当地の方々によって手厚く守られてきました。

この度「六斎衆」の講主である原泰弘様が周辺地をご寄進下さったことをきっかけとして、整備事業が着工され、無事竣工の運びとなりました。

新しい念仏碑は、長年信仰の対象とされた石碑はそのままに、区画内を整備し、美しい玉垣が周りを囲む形として生まれ変わりました。玉垣また銘板には貴

重な布施等協力貢献下さった皆さまのお名前を刻んでおります。昨年、十月二十八日に竣工を記念した落慶式が日和田の地において勤修されました。田中瑞修宗務総長をはじめ、本宗の僧侶と共に日和田村関係者の方々もご列席下さいました。日和田の高き空に響く融通念佛を耳にしていますと、遠き土地にあって信仰を共にするもの同士が繋がり続けた、その奇跡を感じずにはおられませんでした。改めて人と人とを結びつけるお念仏の功德、「融」とは和合の義、通



横田丈実



右側には宿院仏師作の薬師如来坐像が祀っており、こちらの仏像は薬師如来ですが、縄状の頭髮は「清涼寺式釈迦如来」とも言われ、珍しい髪形です。また、毎年

本堂向かって右手の観音堂に、奈良県指定文化財の長谷寺式の十一面観音菩薩立像が安置されています。この十一面観音は戦国時代（室町時代後期）の享祿四年（一五三二）に東大寺仏師・実清が宿院仏師源四郎と源次を助手として造仏し、氷室神社の神宮寺・長楽寺の本尊として祀られていましたが、明治維新後の廃仏毀釈によって長楽寺が廃寺になり西念寺に移されたと言われています。十一面観音菩薩立像は像高約一八二センチメートルで、ブルーの彩色が鮮やかな寄木造です。



十一面観音菩薩立像

末寺巡礼

天理市福住
蓮台山来迎院 西念寺

江戸時代創建のお寺です。本堂は最近では珍しい茅葺き屋根の建物で、鐘楼・石段と昔懐かしい風景です。本堂内には室町時代後半の木造阿弥陀如来半跏像を本尊として祀っています。

四月二十日前後に枝垂桜の名所として「桜まつり花まつり」を開催し雅楽演奏や舞楽の奉納など行っており大変賑わっています。比較的遅い時期に咲く桜で、その年の桜を見逃してしまった人にはおすすです。本年は四月十六日（日）午後一時より開催されます。詳しくは西念寺住職までお問い合わせください。

天理市菅原 向台山来迎院 大念寺

天理市菅原は市街地から東方、布留川を遡った山間の静かな集落で、大念寺はほぼ中央に位置しています。本堂向かって左手に立派な十三仏が立っています。幅約五十センチメートル、高さ約二メートルの舟形花崗岩に約二十センチメートル程の石仏を十三体彫り込んでいます。台座上部に天文二十四年（一五五五）と彫っており室町後期の造立ということがわかります。各尊ともやや頭でっかちでお人形風の像容になってはいますが、大きな花崗岩を用いて蓮華座や面相、持物など細部の意匠表現まで丁寧に仕上げられており、大和でも最も大きく作風優秀な十三仏として有名です。このほか天理市指定文化財である画仏と木造不動明王立像が祀られています。



十三仏石碑



大念佛寺年中行事

（二月～七月）について

「大念佛寺令和の本堂大改修」に伴い、皆様には大屋根銅板瓦の御寄進を数多く賜っており、厚く御礼申し上げます。

令和五年より本堂大改修に伴い、二月一日より本堂で行っているすべての法要を瑞祥閣で執行することとなります。詳細につきましては、「大念佛寺ホームページ」にて随時公表いたしますので、お手数をおかけしますが、ご確認いただきますようお願い致します。

ご不明な折は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

小 径

「コロナ」という言葉を初めて耳にしてから約三年が経ちました。今ではすっかりマスク、消毒の生活も定着しました。マスクを着用して念仏を唱えさせていたのだにも最初は少し息苦しく感じたりして抵抗もありましたがこの形にもすっかり慣れました。

お寺の行事においても中止、参詣者なしでの法要が続いていましたが徐々に従来の形に戻ってきました。一時期には年忌法要、通夜告別式などにおいても親族同士で集まるのが難しくごくわずかな近親者のみで行われていたのが近頃は段々と集まれるようになりました。

当初、新型コロナウイルスが流行りだした頃は社会の多くのものがストップし、人同士が集まる多くの行事が中止、延期となっていました。私の子どもたちの小学校、中学校の入学式においても感染拡大防止の為、校舎内ではなく校庭で行われ、入学式のみが行われた後は学校自体が長い休校となりました。

以前は特に意識することはありませんでした。彼等、施餓鬼などの法要を従来通りに行える、皆様にお参りいただきさせていただけることが実は大変有難いことであると実感しました。今回のこのような事態を経験して初めて気付かされることも多くありました。皆様におかれましては様々な行事、人が集まる事に対して時には億劫であったり、無くて良いのではと感じられたこともあるかもしれませんが、いつもどおりに行事が行えるということ、お互いが顔を合

わせられるということに感謝し、今一度、「出来る」という有難さを再確認していただければと思います。

随園

年中行事ご案内

修正会（本堂）

○一月一日（日・祝） ■午前五時
国家安泰・五穀豊穡・万民豊樂を祈願して法要が修されます。

融通念仏会（本堂）

○一月十六日（月） ■午前十二時
ご一緒にお念仏を称えましょう。

百万遍会（大数珠くり）（本堂）

■午後一時
外陣いっぱい張りめぐらされた数珠を、お念仏の声もろともに繰ります。身体堅固のお加持が受けられます。

寒行

○二月三日（金） ■午前九時三十分
本山僧侶が平野の町を鉦を打ち鳴らしながら托鉢します。

毘沙門天護摩供養

■午前十時
大般若転読（瑞祥閣） ■午後二時

元祖念法要（瑞祥閣）

○二月二十六日（日） ■午後二時

河内御回在御出光（瑞祥閣）

○三月三日（金） ■午前七時

再興念法要（瑞祥閣）

○三月五日（日） ■午後一時

写経奉納供養・筆供養（写経塚・筆塚）

○三月三十日（金） ■午後一時三十分

万部法要

○五月一日（月）～五日（金・祝）

融通念仏会（瑞祥閣）

○五月十六日（火） ■午前十一時

百万遍会（大数珠くり）（瑞祥閣）

■午後一時

東照大権現忌（霊明殿）

○五月二十二日（月）

話せば心も軽くなる 大阪仏教テレビホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。
月曜日～金曜日（八月休）
でんわ 〇六（六二四五）五二一〇 午後二時～五時迄

河内御回在御帰院（瑞祥閣）
○五月二十九日（月） ■午後三時頃

保管霊骨追善法要（楽邦殿）
○六月十日（土）、十一日（日）
■午後二時

中祖念法要（瑞祥閣）
○七月七日（金） ■午後二時

鳥羽上皇忌（霊明殿）
○七月二十日（木）

大念佛寺仏教講座（延喜殿三階）
●毎月第二水曜日
■午後二時～四時三十分

定例布教（日曜日の時は二十七）
●毎月二十六日 ■午後二時三十分

★写経のご案内 ※日にち場所が
毎月十五日、午前九時三十分より
午後三時まで、延喜殿三階にて写経（一
巻十円）を行っております。

★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで
年中無休で宗派は問わず納骨を受け
付けています。
尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ
下さい。

●日程については、変更になる時
もごさいいます。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所

☎〇六・六七九一・〇二六

謹賀新年

法主 吉村 暲英
管長 田中 瑞修
宗務総長 吉井 良久
教学部長 好野 良博
庶務部長 佐々木 智祥
財務部長 佐々木 智祥

融通念仏宗本山 大念佛寺